


 VISITORS
FROM ABROAD

 中国の教育関係者の
アジア関係図書館見学相次ぐ

アジア関係図書館では、今年度に入って中国からのお客様を大勢迎えた。

まずは、本学と北京第二外国語学院との協定締結20周年記念事業で来日した同学院院长辦公室主任劉征氏、同外事処副処長張融融氏率いる20名の学生が6月5日に、9日には、楊希文校務委員會副主任を団長とする西安外國語大學代表團5名、13日は上海師範大學國際交流處處長華華副教授ほか3名の先生方、次いで14日、王慶存団長（中国國務院新聞辦公室ネット局局長級巡視員）ほか教育関係者6名で編成された中国海外中国語教育訪日団が見学を訪れた。7月には内蒙古人民教育基金會常務副会長の楊曼女史、内蒙古電力學院院長王林江教授ほか2名の方が、13日に来館された。

皆様方には、閲覧室のほか、中国関係資料が配架してある書庫二層、特別書庫の見学をしていただいた。多くの方が興味を示されるのは可動式書架、そして、1949年発行のものから所蔵している『人民日報』など。学生諸君は、閲覧室に配架してある中国語文学作品などに興味を覚えたようである。（写真は中国海外中国語教育訪日団の方々と就職部長川口榮一教授、中国語学科主任喜多田久仁彦助教授）

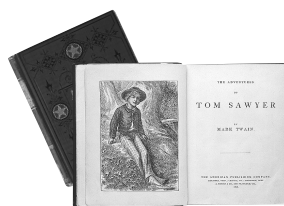


表紙に掲げられた資料の解説

TWAIN, Mark *The Adventures of Tom Sawyer*
Hartford, 1876

トウェイン『トム・ソーヤの冒険』

マーク・トウェイン(1835-1910)はアメリカの作家で本名をサミュエル・ラングホーン・クレメンズ(Samuel Langhorne Clemens)といい、ミズーリ州のフロリダに生まれた。植字工、水先案内人、鉱夫などをした後、新聞社の通信員となった。1865年ニューヨーク



の新聞に寄稿した『跳ね蛙』(The Jumping Frog)でユーモア作家としての地位を確立し、ヨーロッパ旅行の体験記『赤毛布外遊記』(The Innocents Abroad)や『ハックルベリー・フィンの冒険』(Adventures of Huckleberry Finn)など数多くの作品を残した。筆名のマーク・トウェインは、ミシシッピ河の水先案内人であった頃に聞き慣れた、測深手の叫び声「水深2尋」(by the mark, twain)に由来している。

本書は、1876年に出版された初版本の第3刷である。この作品は作者(つまり主人公Tom)の叔父の農場“Quarles Farm”やミシシッピ河に臨む港町ハンニバルでの少年時代の思い出を題材にした伝記的小説で、大人から見た子供の世界がそのままにユーモアを交えて描かれている。なお、タイトルの「冒険」(Adventure)の意味は「型破りの、痛快な、向こう見ずの行動」といったぐらいの意味で、「ドン・キホーテ」流の冒険といったところである。

トウェインの評価は時代とともに高まり、現代アメリカ文学に大いなる影響を及ぼしアメリカ国民文学の確立に貢献した彼は、文学におけるリンカーンともいわれ、本書をアメリカ文学史上の傑作の一つに数えるということは批評家の一致した見方である。

『洋書百選』(1972年 本学図書館刊行)
より抜粋し加筆